

# 名古屋掖済会病院

病院長名	北川 喜己
所在地	〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町 4-66
交通案内	市バス：名古屋駅バスターミナル4番、または21番（ミッドランドスクエア前）乗り場から「東海橋」または「野跡」行に乗車、「玉船町三丁目」下車して、西へ徒歩5分。

## □ 病院の特徴

名古屋掖済会病院は、名古屋市南西部の中核病院として、救急医療を中心とした地域医療に貢献することを目指しています。当院の救急は「救急患者を断らない」を大原則にしています。その背景には、20名近くの救急専従医がいること、各診療科との良い連携が築かれていること、そのため多様な疾患に対応できる専門診療科へのバトンタッチがスムーズで、直ちに治療を始められる体制にあります。また、地域医療支援病院の指定を受け、がん診療にも入っていて、高度医療を地域に提供しています。

## □ 研修の特徴

当院は「救急のエキサイカイ」と呼ばれています。それは病院の方針として「救急救命を中心にやっていく」という強い信念を持ち、全職員が共通認識としてその信念を共有しているからです。したがって救急専門医を有する多数の救急科医師が在籍し、一般病院では珍しく休日や夜間も必ず救急科医師が勤務しています。その他内科系2名・外科系2名・小児科1名・産婦人科1名・循環器内科ないし心臓血管外科1名が必ず当直しており、研修医は土日夜間の当直勤務においても救急科医師や専門科医師にリアルタイムで相談でき指導を受けることができます。

また、2020年には救命救急センターにCTと血管撮影装置を組み合わせたハイブリッドERを整備したことにより、重症患者に対する画像診断・治療を限りなく迅速にシームレスにこなすことができるようになりました。過去の実績やこのような設備環境が評価され、2023年には「愛知県指定重症外傷センター」として、愛知医科大学病院と当院の2病院が指名され、ますます3次救急病院として重症患者が搬送されるようになりました。

当然バックアップする他の診療科も規模が大きく、救命救急センターから専門科への引継ぎも円滑に行い、病院丸となった診療で多くの患者を救う医療現場で働くことが出来ます。各科ローテーション研修では、専門医による熱心な指導のもと、診断過程や手術・手技にも積極的に参加してもらい「担当医」として診断から治療に関ってもらいます。このような研修指導体制が高く評価され、2024年度にはJCEP 卒後臨床研修評価機構から最高賞であるエクセレント賞をいただき、第三者機関からもお墨付きの研修生活を送ることができます。

当院での研修は決して「ハイポ」ではありません。しかしon-offはしっかりしています。2年間の研修期間でいかに症例を経験し良質な指導を受けるか、です。気の置けない仲間と切磋琢磨し充実した2年間を送れるということをお約束します。



## □ メッセージ

指導医（臨床研修センター長・外科部長 山口直哉）

当院の研修の特徴は

- ① 豊富な救急症例
- ② 雰囲気の良い
- ③ 教え好きな上級医・指導医が多い

ということがあげられますが、他にもいっぱい良さがあります。



「誰かお医者様はいませんか？」このような場面に出くわした時、自信を持って手挙げできるそんな医師に育て上げます。ぜひ見学に来て、生き生きとした先輩研修医の働く姿を見てください。

研修医（2年次研修医 中村天音）

当院の研修の特徴は、豊富な症例を経験できること、全国から集まった研修医と切磋琢磨できること、教育熱心な上級医が多くいらっしゃることで、当直帯には多くの患者さんが来院されますので、救急診療が着目されることが多いです。た



しかし、実際に入職してみると救急診療は盛んだなど感じました。ただ、内科志望の動機は病棟管理をしっかり行っていたり、オペに多く参加している外科志望の人もいます。教育熱心だけでなく、上級医の雰囲気が良いため自分の学びたいことを後押ししてもらえる環境であると感じています。研修医は様々な地域から集まってきています。愛知県に縁もゆかりもない人も少なくありません。少しでも当院に興味を持っていただけたら、是非見学にいらしていただけたらと思います。

## 募集要項

・採用実績	2024年度 16人 ・ 2025年度 15人
・給与/月額	1年次 約470,000円 2年次 約510,000円 (※諸手当含む)
・当直回数/月	4~5回
・当直料/回	約30,000円/1回 ※当直明けは休み。
・その他	研修医室、研修医宿舎有り、学会補助あり
・応募連絡先	担当者 真野・荻巣 電話番号 (052)652-7711 Eメール rinkensai@ekisai.or.jp